

平成29年度 学校運営に関する評価の結果と考察

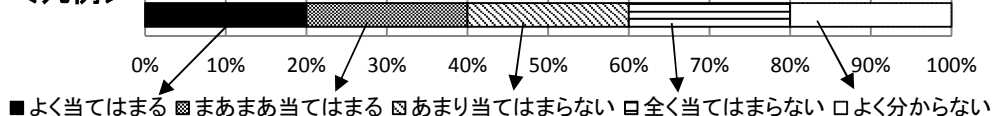
陽春の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。日頃から本校の教育活動に対し、ご理解とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

さて、昨年12月に実施しました平成29年度の学校運営に対する保護者アンケートに、たくさんの保護者の方々にご協力をいただき、ありがとうございました。深く感謝申し上げます。皆様から寄せられたご意見とともに、児童の生活アンケート・教職員の自己評価、また、一部の項目については地域の方々からいただいた評価も加えてまとめましたので、お知らせいたします。

なお、評価から見てきた課題については改善策を立て、来年度の学校運営に生かしていきます。今後ともご理解・ご協力のほどをよろしくお願いいたします。

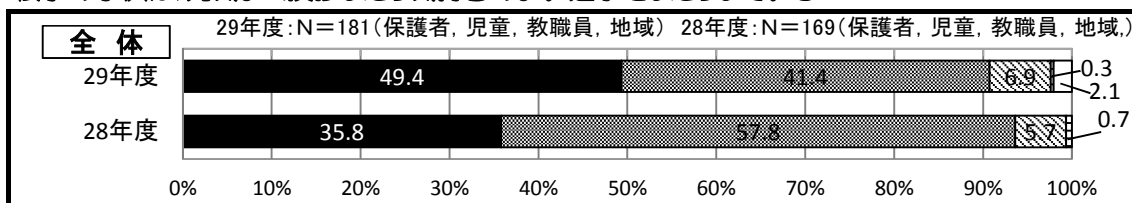
★ 各グラフの標記については、下の凡例を参考にしてください。

<凡例>

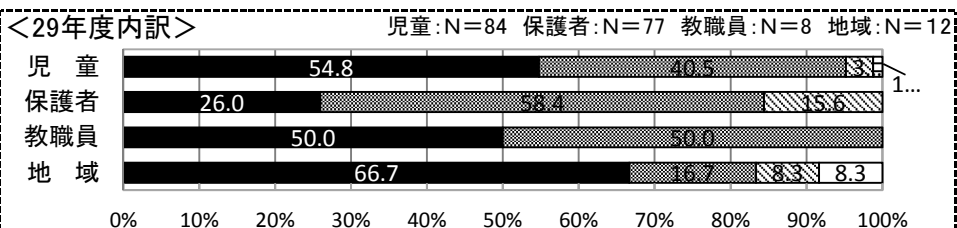


1 重点目標について

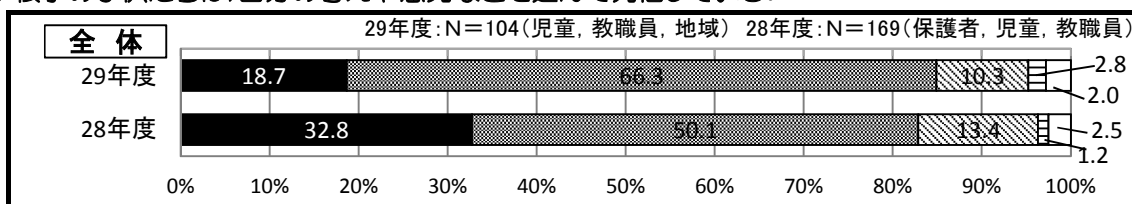
① 根小の子供は、元気よく挨拶したり気持ちのよい返事をしたりしている。



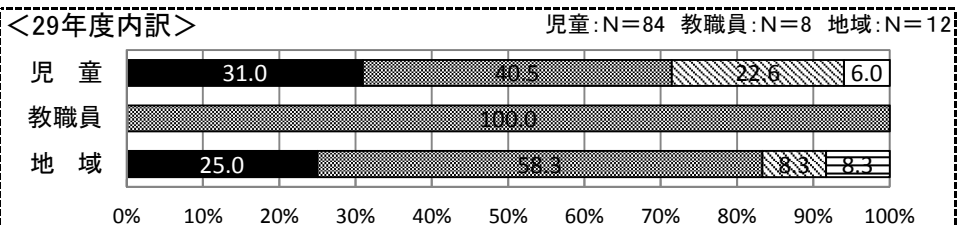
<29年度内訳>



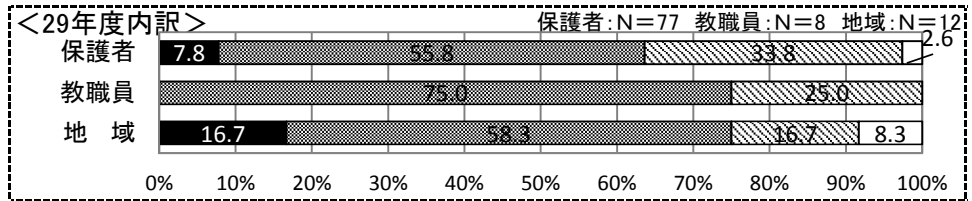
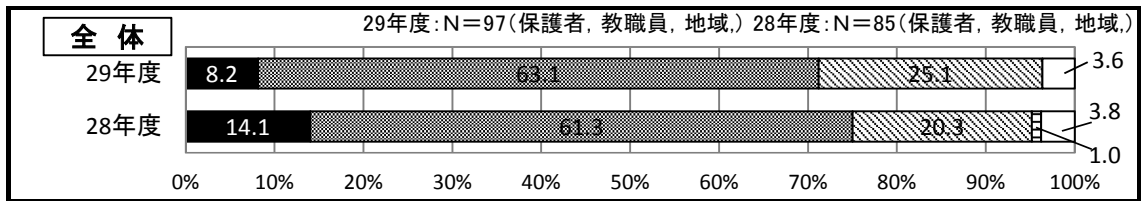
② 根小の子供たちは、自分の考えや意見などを進んで発信している。



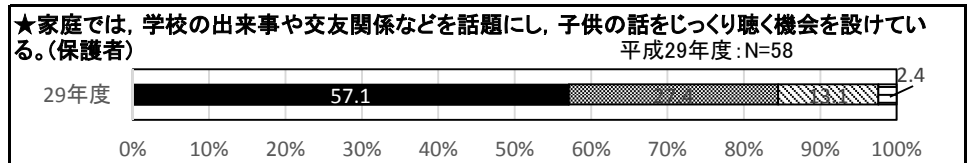
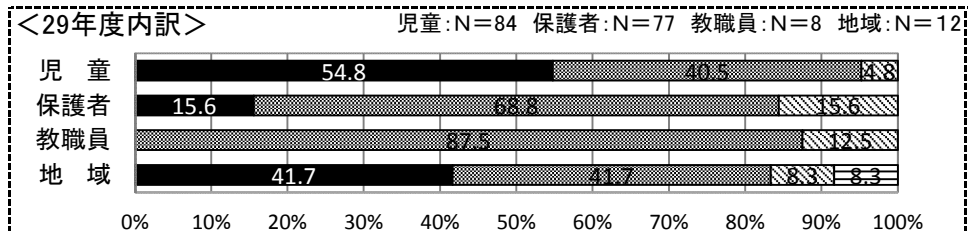
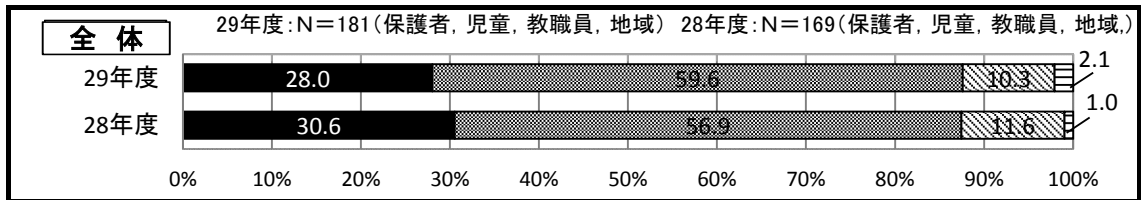
<29年度内訳>



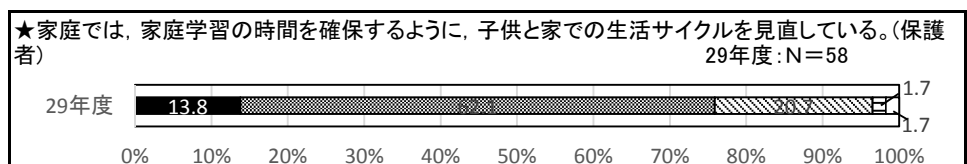
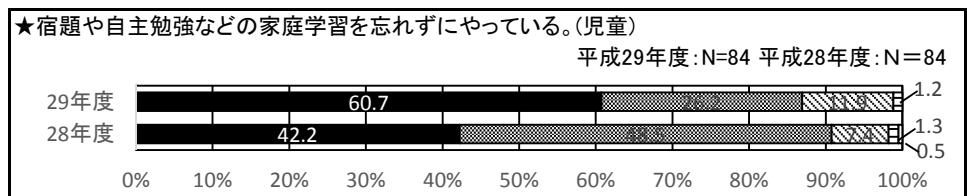
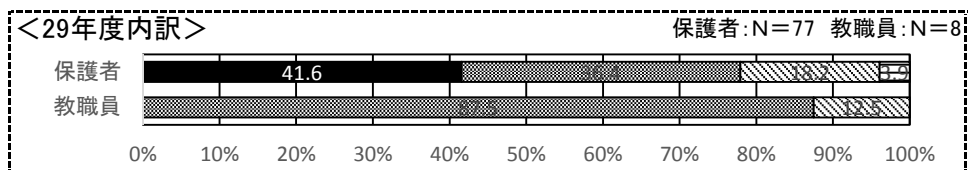
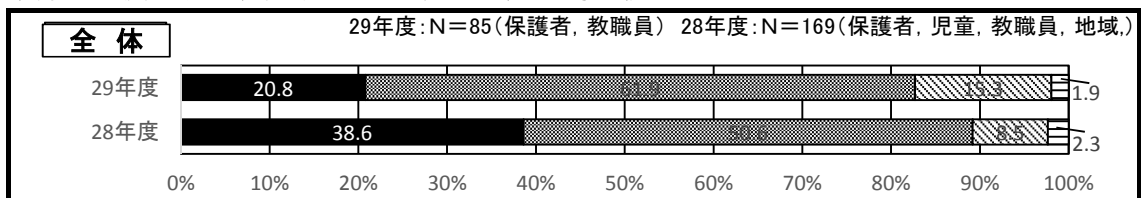
③ 根小の子供は、伝えたいことがよく分かるように考えをまとめ、表現を工夫して話している。

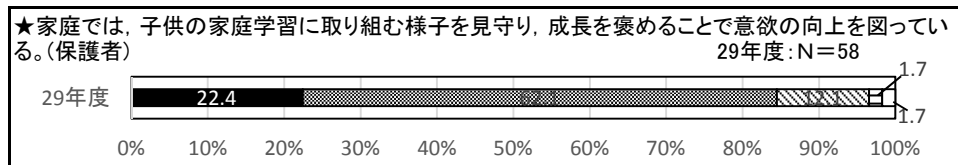


④ 根小の子供は,相手の話をしっかりと聴いている。



⑤ 根小の子供たちは,宿題や自主勉強を自ら行い,毎日続けている。





＜元気のよい挨拶や気持ちのよい返事をする＞

今年度の重点目標の一つは「相手の話を聴け、自分の意見を分かりやすく伝えることができる子供の育成」でした。相手の話を聴き、自分の意見を伝えるためには、まず、相手を意識することが必要です。そのため、挨拶がとて大切になります。

項目①「元気で挨拶したり気持ちのよい返事」については、前年度に引き続き約9割の回答者からおおむね良好であると評価されました。今年度はただ挨拶をするのではなく、何か一言を加えて挨拶すること(プラス挨拶)、自分から進んで挨拶すること(先取り挨拶)などについて全校で取り組みました。学年が上がるごとに、自主的に挨拶をする子供の割合が大きくなりますが、低学年でも元気でさわやかな挨拶ができる児童が増えています。次年度も、学年に応じ、自発的な挨拶や返事ができるように指導していきたいと思います。

(※「おおむね良好」の評価は、「よく当てはまる」と「まあまあ当てはまる」を合わせた評価です。*「当てはまらない」の評価は、「あまり当てはまらない」と「全く当てはまらない」を合わせた評価です。)

＜話をしっかり聴く＞

聴くことについても、「聴く」ということはただ聞くのではなく、目と心を合わせて聴くこと。そのため、話を聴くときは相手の方に耳だけではなく、目と体を向けることなどを指導しました。項目④「相手の話をしっかり聴いている。」は、約9割の回答者がおおむね良好と答えています。次年度もたくさんの「聴き方名人」を育てていきたいと思っています。

＜自分の考えを伝える＞＜表現を工夫する＞

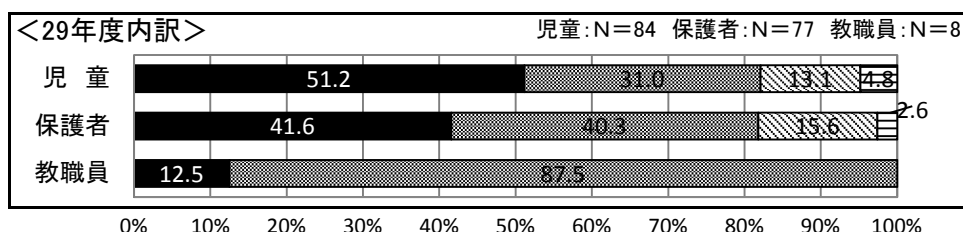
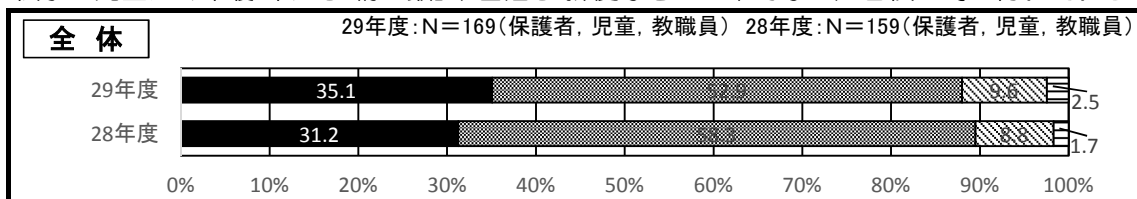
項目②「自分の考えや意見などを進んで発信している。」では、8割以上の回答者がおおむね良好と答えています。また、項目③「表現を工夫している。」に対しては、約7割がおおむね良好の回答でした。進んで話そうとする子供は多いのですが、表現を工夫している子供の割合は若干少ないようです。次年度も、教員の校内研究のテーマとして、コミュニケーション力の向上を目指し、様々な場面で相手を意識した分かりやすい表現を工夫し、話したり伝えたりできるよう、次年度も継続して指導していきたいと思っています。

＜宿題を怠らない＞＜自主勉強を毎日続けている＞

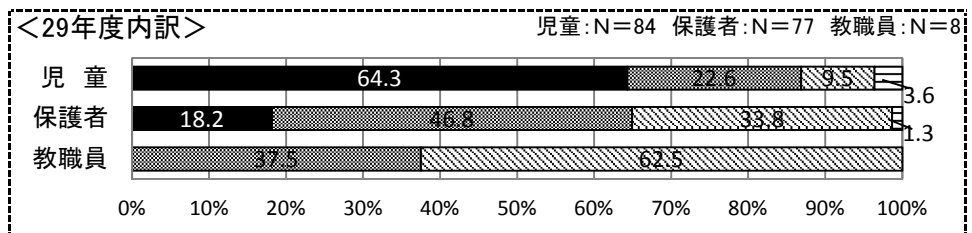
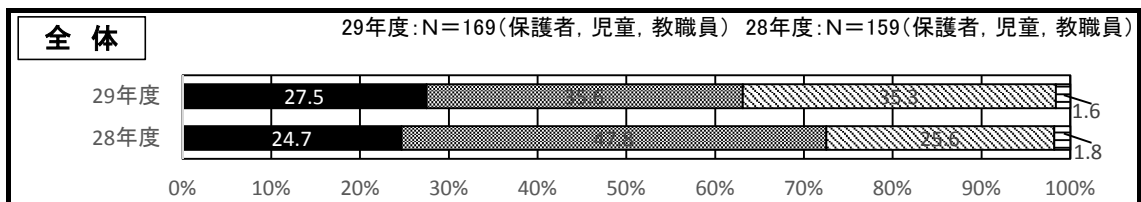
今年度のもう一つの重点目標は「家庭学習の手引き」に則した家庭学習に取り組む子供の育成」でした。★宿題や自主学習などの家庭学習を忘れずにやっている子供の割合は9割近く、高学年では97%となっています。学年が上がるにつれて、家庭学習も定着するようです。しかし、項目⑤を見ると、「家庭学習に自主的・主体的に取り組んでいる。」という回答の割合は約8割でした。家庭学習に取り組むことはほぼ定着しつつありますが、自ら進んで行うという点については、更なる声掛けが必要なようです。家庭での生活サイクルの見直しや見守りなど、次年度もご協力をお願いいたします。次年度は、家庭学習にとどまらず学習全般に、より自主的・主体的に取り組むことができるよう指導したいと考えています。

2 「笑顔あふれる楽しい学校」について

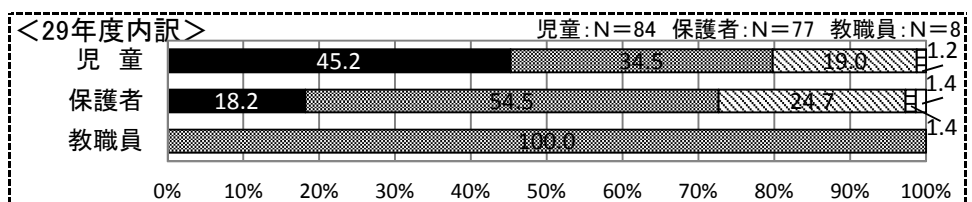
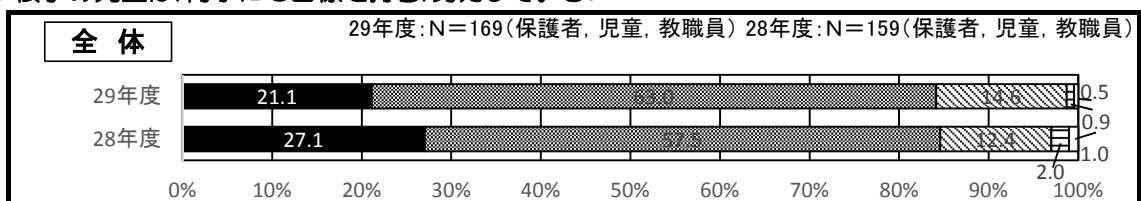
⑥ 根小の児童は、「早寝・早起き・朝ご飯」や歯磨き、排便などの基本的な生活習慣が身に付いている。



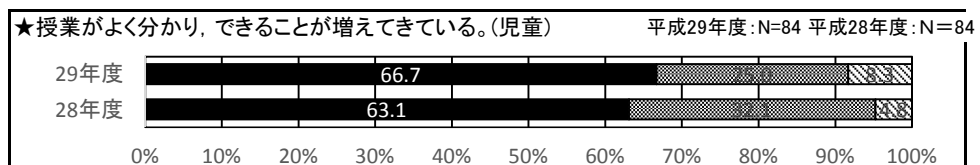
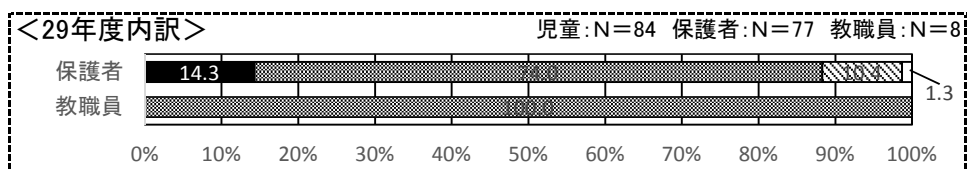
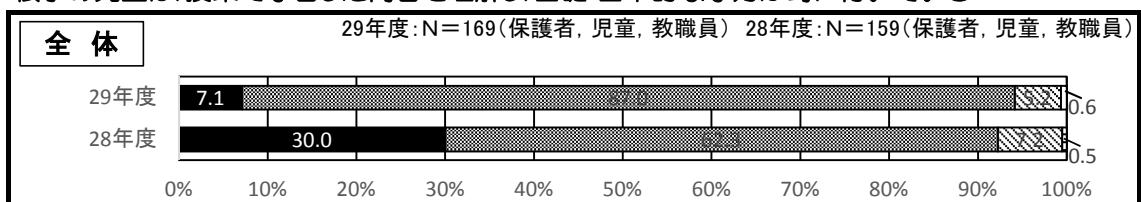
⑦ 根小の児童は、分からないことがあれば、自分で調べようとしている。



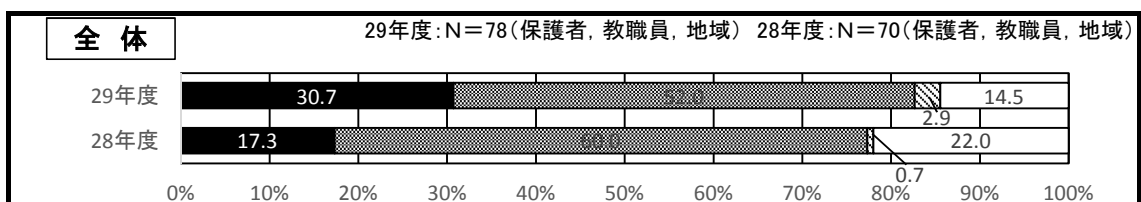
⑧ 根小の児童は、何事にも目標を持ち、努力している。

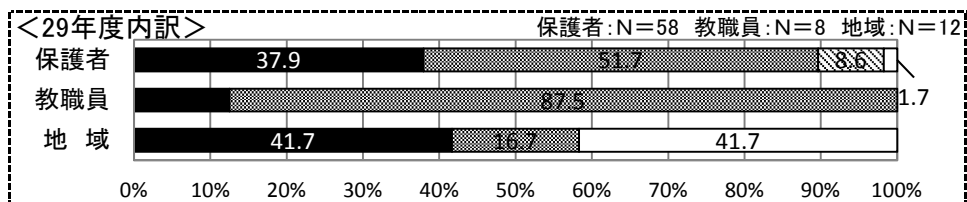


⑨ 根小の児童は、授業で学習した内容を理解し、基礎・基本的な学力が身に付いている。



⑩ 根白石小学校は、児童に基礎的・基本的な知識・技能を確実に身に付けさせる、指導の工夫・改善に努めている。





＜基本的な生活習慣＞

項目⑥「早寝・早起き・朝ごはん」などの基本的な生活習慣の定着については、前年度と同様9割近くの回答者がおおむね良好と評価しています。健康や学習する力の基盤となっている基本的な生活習慣は、ほとんどの子供が身に付いているようです。しかし、学年が上がるにつれて、就寝時間が遅くなり、夜遅くまでゲームをしていたりインターネットの動画を見ていたりする子供も多いようです。約75%の家庭で、家庭での生活サイクルの見直しをしていただいています。学校でも引き続き、保健指導や学級活動、家庭科の学習を通し、よりよい生活習慣を身に付けられるよう、指導していきます。

＜目標を持ち、努力する＞

項目⑧「根小の子供は、目標を持ち、それに向かって努力している。」では、昨年度と同様、回答者の85%がおおむね良好と答えています。この努力する姿勢が、運動面にも生かされています。全校で取り組んでいるマラソンや縄跳び、年2回のスポーツテストは、一人一人が明確な目標を持ち、努力の成果を確認することにより、体力づくりに継続して取り組むことができました。全国体力・運動能力調査の結果を見ても、根白石小学校は男子、女子ともに48項目中42項目で仙台市平均を上回りました。次年度も、引き続き、運動好きな子供、意欲的に運動を継続する子供、そして健康な子供の育成に努めます。

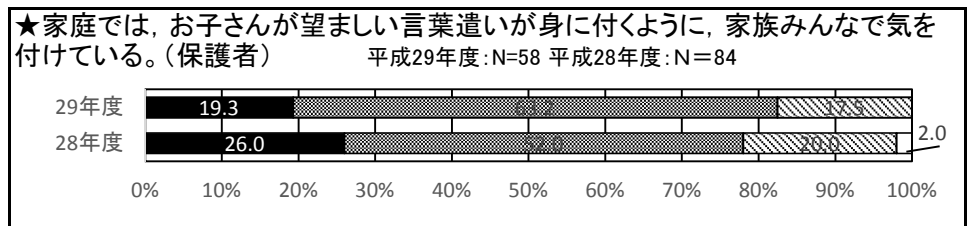
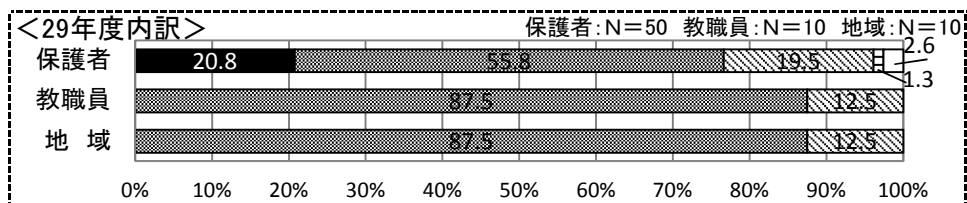
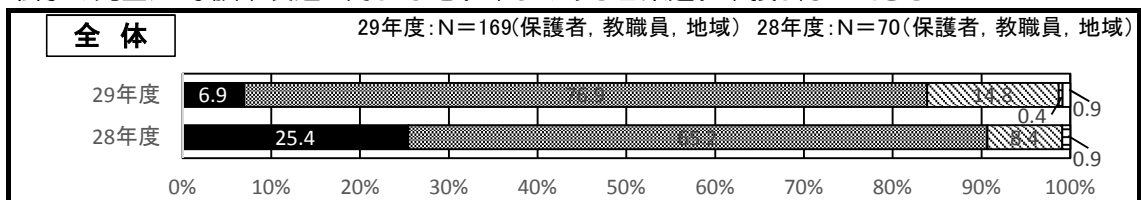
一方、項目⑦「根小の子供は、分からないことがあれば自分で調べようとする。」では、約4割の回答者が当てはまらないと評価しています。分からないことがあれば自分で調べることも、目標に向かって進むために必要なことです。これまでも授業の中で調べる時間を確保していましたが、調べ方の指導にも力を入れていきたいと考えています。

＜基礎的・基本的な知識・技能の習得と指導の工夫＞

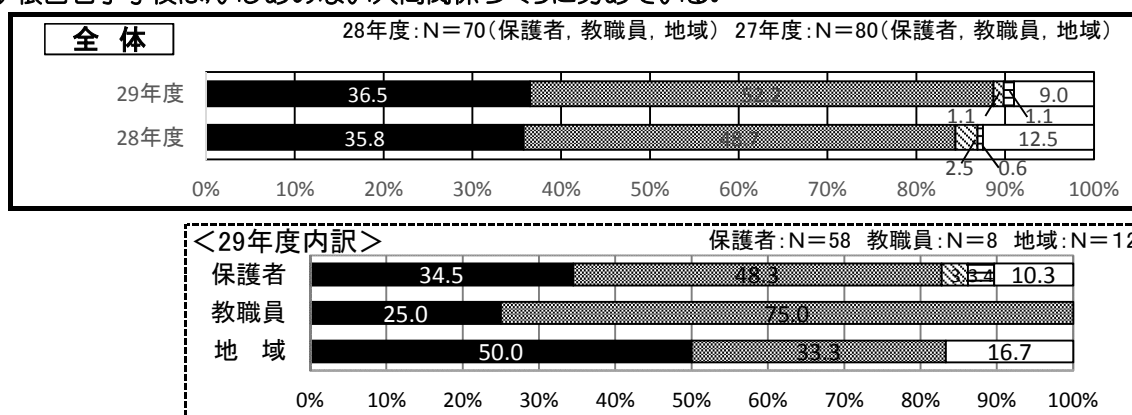
項目⑨「根小の子供は、授業がよく分かり、できることが増えてきている。」では、昨年度と同様、約85%の回答者がおおむね良好と答えています。が、「よく当てはまる」という回答の割合が、昨年度の30%から約7%へと大きく減ってしまいました。学校では、次年度も引き続き、指導の工夫・改善を進め、一人一人によく分かる授業を提供できるよう努めます。また、学習内容の定着を図るため、始業時間前のスキルタイムを充実させるとともに、放課後の時間を活用した個別指導にも取り組んでいきます。

3 「いじめのない温かい学校」について

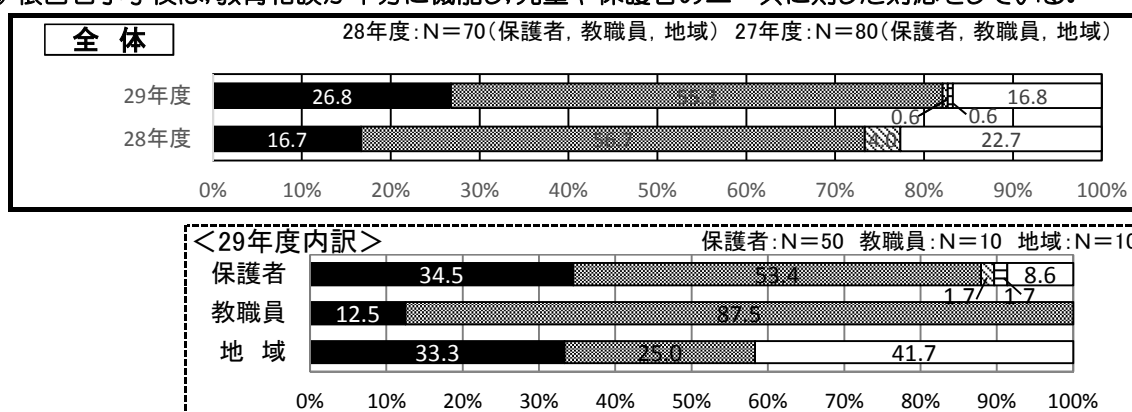
⑪ 根小の児童は、家族や友達に対して、思いやりのある言葉遣いや接し方ができる。



⑫ 根白石小学校は、いじめのない人間関係づくりに努めている。



⑬ 根白石小学校は、教育相談が十分に機能し、児童や保護者のニーズに則した対応をしている。



<思いやりのある言葉遣い、行動>

項目⑪「根小の子供は、家族や友達に対して、思いやりのある言葉遣いや接し方ができる。」では、回答者の約8割がおおむね良好であると評価しています。けれども、昨年度よりもわずかにその割合が減り、そのうちの「よく当てはまる」の割合も昨年度の約25%から約7%へ大きく減りました。「思いやりのある言葉遣いや行動」は、「積極的な挨拶」や「相手に分かるように表現すること」とも関連させ、学校・家庭・地域が連携して子供たちの指導に当たっていきたいと思います。こちらにつきましても、次年度も引き続きご協力をよろしくお願いいたします。

<いじめのない人間関係づくり>

項目⑫の「いじめのない人間関係づくり」については、9割近くの回答者がおおむね良好と評価しました。この項目は、全ての皆さんにおおむね良好と評価していただけるよう更に努力してまいります。学校は子供にとって安心して生活できる場であればなりません。子供たちが互いの良さを認め合い、一人一人が持てる力を十分発揮できるような温かな学級・学校づくりを一層推し進め、スクールカウンセラーや教育相談担当者との連携を図り、適切な対応に努めます。これまで同様、お子さんの様子で心配なことがありましたら、ぜひ、早めにご相談ください。

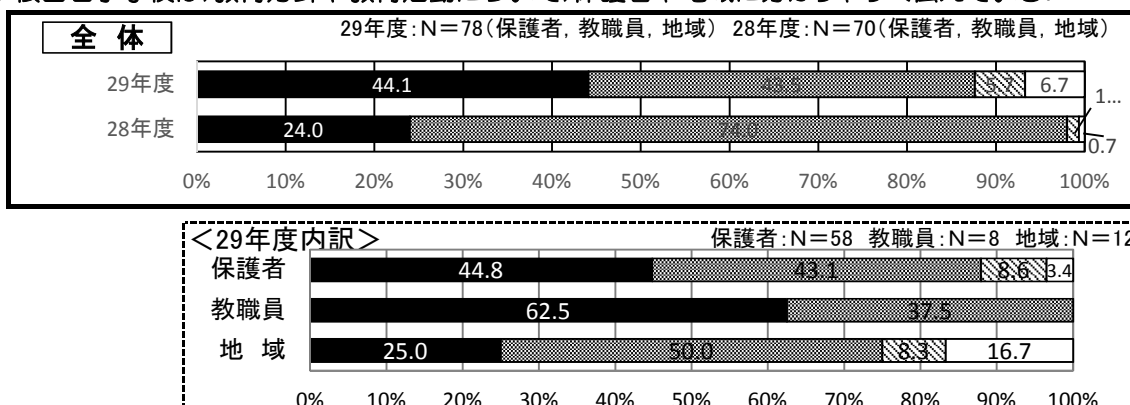
「よく分からない」や無回答の方も多かったので、次年度は、学校での取組を分かりやすくお伝えいたします。

<教育相談とニーズに則した対応>

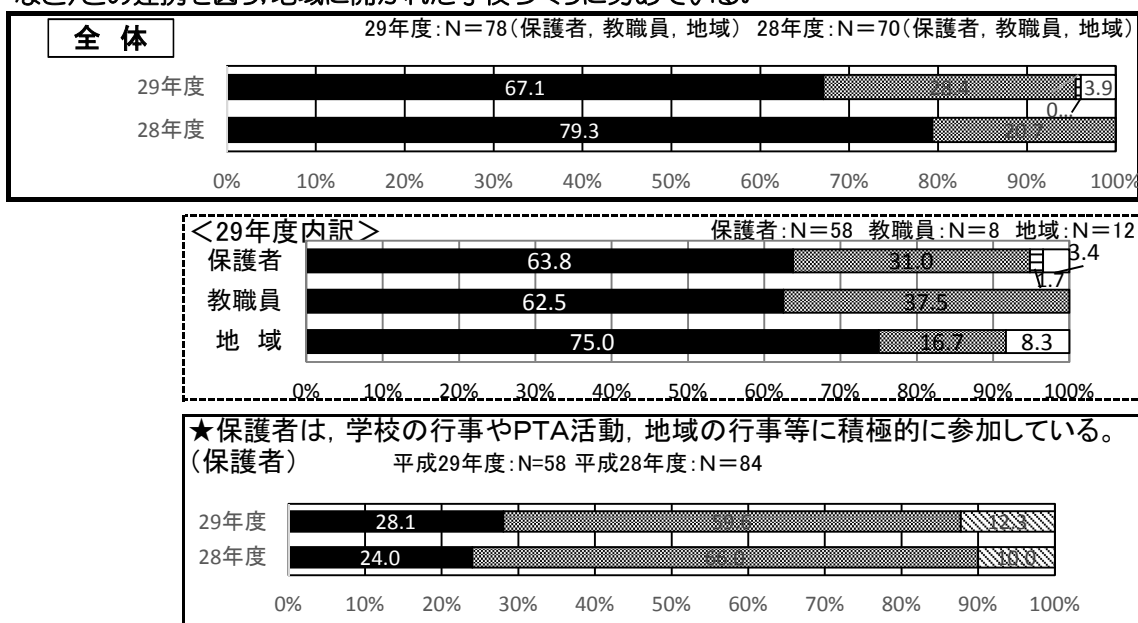
項目⑬の「教育相談とニーズに則した対応」については、おおむね良好という割合が約8割となり、よく当てはまるという評価も昨年度よりも1割程増えました。しかし、今年度は保護者の皆様に子供たちの様子をお伝えするのが遅れ、ご心配をおかけしてしまったことがありました。保護者の皆様と情報を共有し、子供たちのために共に取り組んでいくことが大切だと考えます。どんなことでも相談しやすい学校を目指し、日頃から子供や保護者の方との信頼関係の構築に一層努めます。なお、教育相談の学校の窓口は教頭ですが、教頭以外の担任や養護教諭にお伝えいただいても結構です。また、本校の教員だけではなく、スクールカウンセラーや関係機関との相談もできますので、いつでもお声掛けください。

4 地域と共に歩む学校

⑭ 根白石小学校は、教育方針や教育活動について、保護者や地域に分かりやすく伝えている。



⑮ 根白石小学校は、行事などの教育活動を通し、各団体(PTA, 育成会, アセ踊り保存会, 市民センターなど)との連携を図り、地域に開かれた学校づくりに努めている。



＜分かりやすい情報発信＞

項目⑭の「教育方針や教育活動等の分かりやすい情報発信」については、9割弱の回答者がおおむね良好と評価しました。とてもよく当てはまると回答した割合も2倍になりました。学校の教育方針や子供たちの活動の様子を文書やお便りだけではなく、PTA総会や懇談会、各種会合の機会を利用し、お伝えしました。また、HPやブログ等も活用してきましたことが効果的だったと考えています。さらに、次年度は保護者や地域の方々が求めている情報は何か、発信方法は妥当なのか検討し、分かりやすい情報の発信に努めます。

＜地域に開かれた学校づくり＞

項目⑪「地域に開かれた学校」に関しては、昨年度同様、非常に高い評価をいただきました。今後も保護者の方々や地域の皆さんと共に子供たちの成長を支えていきたいと考えています。また、読み聞かせボランティア「根っこぽっこ」、「アセ踊り保存会」、「学校防犯ボランティア」などたくさんの地域の皆さんから、ご支援をいただき、豊かな教育環境を整え、子供たちの活動を充実させることができました。次年度も、より一層学校と地域の連携を深めてまいります。また、校外での子供の活躍を応援し、指導にも役立てるため、できる範囲で教職員が地域の祭りに参加したり、祭りを参観したりするようにしたいと考えています。